

# I 2016（平成 28）年度「学生による授業評価アンケート」実施報告

## 1. 実施目的

「学生による授業評価アンケート」は、本学の教育内容や教育方法等の課題を明確にし、質的な向上を図ることを目的に、2008（平成 20）年度から継続的に実施している。

集計結果が出たのち、教員はそれを踏まえて担当授業について自己評価をおこない、結果についての所見、改善に向けた今後の取り組みについて学生へフィードバックを行った。

## 2. 実施方法

### 1) 実施期間

前期は、2016（平成 28）年 6 月 29 日（水）～7 月 27 日（水）、後期は、2016（平成 28）年 12 月 9 日（金）～2017（平成 29）年 1 月 27 日（金）に実施した。なお、一部の集中科目等については、開講期間中に実施した。

### 2) 対象科目・対象者

対象科目：2016（平成 28）年度開講の学部全科目（一部の学外実習科目等を除く）

対象者：全学部の学生

### 3) 実施科目数・回収率

開講所属ごとの実施状況は下のとおりである。

学部・学科名等	対象科目数 (a)	実施科目数 (b)	実施しなかった科目 (a-b)	実施率	実施科目 回収状況		
					履修者数	回収数	回収率
共通教育科目	222	221	1	99.5 %	7,707	6,052	78.5 %
資格関係	51	49	2	96.1 %	964	775	80.4 %
人間文化学部共通科目	2	1	1	50.0 %	13	7	53.8 %
英語英文学科専門教育科目	237	224	13	94.5 %	4,450	3,459	77.7 %
人間文化学科専門教育科目	121	120	1	99.2 %	2,191	1,677	76.5 %
生活福祉文化学部専門教育科目	216	211	5	97.7 %	3,744	3,176	84.8 %
心理学部専門教育科目	152	144	8	94.7 %	5,026	3,883	77.3 %
計	1,001	970	31	96.9 %	24,095	19,029	79.0 %

#### 4) 調査内容 (学部)

最初に、回答者の属性 (学年・所属学部 (学科)) を尋ね、次に当該科目に関して「授業の状況」「学習の状況」「学習成果 (社会人基礎力)」「授業形態項目」「独自設定項目」について尋ねた。設問数は、選択式 19 問 自由記述 2 問である。

「授業形態項目」は、授業形態 (講義、演習、実習、卒業研究) によって設問が異なる。調査項目は、2015 (平成 27) 年度と同様である。

調査項目の一覧は以下のとおりである。

#### 授業評価アンケート調査項目と回答形式

##### (1) 調査項目

###### 授業の状況

- (1) 授業はシラバス (目標・内容・方法など) に沿った内容であった
- (2) 授業中に使う教材 (テキスト・配布資料など) は適切であった
- (3) 成績評価の仕方が明確に示されていた
- (4) 教員の話し方は、わかりやすかった
- (5) 教員は学生の理解や反応に柔軟に応じて授業を進めた
- (6) 授業は興味関心の持てる内容であった
- (7) 授業の教室の広さや設備などは適切であった

###### 学習の状況

- (8) 授業の内容は理解できた
- (9) やむを得ぬ理由以外では遅刻・欠席をしなかった
- (10) この科目について授業以外 1 週間あたり、どのくらい学習しましたか  
〔5(2 時間以上)、4(1~2 時間未満)、3(30 分~1 時間未満)、2(30 分未満)、1(0 時間)〕

###### 学習成果 (社会人基礎力)

- (11) この授業で、「自分を育てる力」が向上した
- (12) この授業で、「共生・協働する力」が向上した
- (13) この授業で、「コミュニケーションする力」が向上した
- (14) この授業で、「創造・発信する力」が向上した
- (15) この授業で、「思考・解決する力」が向上した
- (16) この授業で、「主体的に行動する力」が向上した

###### 授業形態項目 (講義)

- (17) 教員は、私語の注意など受講マナーを守らせるよう配慮していた
- (18) 黒板の字や視聴覚教材 (パワーポイントなど) は見やすかった
- (19) 授業の進むペースは適切であった

###### 授業形態項目 (演習)

- (17) 発表や課題提出に対して教員から適切なフィードバックがあった
- (18) 教員とコミュニケーションがとれた
- (19) 授業中に質問や発言を積極的にした

###### 授業形態項目 (実習)

- (17) 実習はやりがいがあった
- (18) 授業中に質問や発言を積極的にした

(19) TA などのサポートが役に立った

授業形態項目（卒業研究）

(17) 卒業研究の作成過程・出来栄えに満足している

(18) 指導教員から適切な指導を受けた

(19) 卒業研究作成の過程で、多くの学びがあった

独自設定項目

(20) 担当教員が、独自に設定した項目

記述式項目

- ・この科目（授業）について「よかった点」を記入してください。（自由記述）
- ・この科目（授業）について「改善すべき点」を記入してください。（自由記述）

## (2) 回答形式

評価項目(1)～(9)、(11)～(20)については、以下の選択肢から回答させた。

- 5：そう思う
- 4：どちらかと言えばそう思う
- 3：どちらとも言えない
- 2：どちらかと言えばそう思わない
- 1：そう思わない
- 0：該当しない

## 5) 実施手順（学部）

授業評価アンケートの調査票は、学事課および研究・情報推進課より教員に配付した。各科目の担当教員は、学生に対しアンケートの主旨を説明した上で調査票を配付した。回答済みの調査票は、担当教員が指名した学生の代表が回収し、学事課へ提出した。

例外的な取り扱いをした科目は以下のとおり。

- ・「ノートルダム学Ⅲ」と「卒業研究」は、「ノートルダム学Ⅲ」の授業において（12月9日、12月16日）、学事課の職員が調査票を学生に配付し回収した。

## 6) 結果の集計

調査票の印刷・封入作業および集計処理は、株式会社教育ソフトウェアに依頼した。

## 7) 集計結果の教員への通知

科目別集計結果は、前期実施分は2016（平成28）年9月中旬に担当教員に配付した。後期に担当授業のない非常勤講師については郵送にて配付した。

後期実施分は、専任教員には2017（平成29）年3月に配付し、非常勤講師については郵送にて配付した。

## 8) 集計結果の学内への公表

全学部授業のアンケート集計結果（自由記述を除く）は学事課及び研究・情報推進課にて教職員および学生の閲覧に付した。また、学内 Web にも掲載した。

なお、集計結果を受けた教員によるフィードバックの内容は、2013（平成25）年度より学内 Web にて公開している。